

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		06 01 03	中期総合計画主要施策番号		1-06		担当課	部・課	環境部環境政策課	
事業名		環境教育推進事業				内線		2717		
						E-mail		kankyo@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・次世代を担う子ども達の環境保全に対する意識を高め、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動できる人材の育成を図る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・環境の保全についての理解と関心を深めることができるよう、学校教育における環境教育のみでなく、それ以外の場でも環境教育が求められている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・地球温暖化等の環境問題は改善されておらず、これからライフスタイルを確立する子ども達に対する環境教育が重要である。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・「こどもエコクラブ事業」を周知して、参加を促す必要がある。 ・更には、環境保全に取り組む他のクラブ等との交流・連携を促し、活動の継続・発展を支援する必要がある。								
		事業内容 ・県教育委員会と協力しての「こどもエコクラブ事業」の広報及びクラブの募集 ・県内交流会の開催 ・環境省主催の全国フェスティバルへのクラブ派遣								
		実施期間	H7 ~		根拠法令等	環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、環境基本条例				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
こどもエコクラブへの参加を促し、こども達の環境保全に対する意識を高める。(平成24年度までに登録数を120クラブとする。)		平成24年度の目標達成に向けて、登録数を104クラブ程度まで増加させる。			積極的な募集により、新規登録数を19年度から倍増させ、継続登録数と合わせて105クラブとすることができた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	545	428	383	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	406	291		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別内訳等 旅費 127 需用費 128 役務費 19 使用料及び賃借料 17			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.08	0.08	0.08	(単位: 千円)			
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	977	863	955				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	クラブ数		クラブ	77	105	108	県内交流会を2回開催した。 広報ちらしを作成し、配付した。			
	クラブ参加者数		人	3,596	4,052	4,100				
	全国フェスティバルへの派遣		クラブ	1	1	1				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・環境教育の総合的な推進は県の責務である。 ・クラブの登録数を増加させるため、引き続き募集を推進していく。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		子ども達の環境保全に対する意識を高めるため、平成24年度までに120クラブの登録をめざし、引き続き県においても積極的な募集に努めていく。							